



2024年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月15日

上場会社名 ブックオフグループホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9278 URL <https://www.bookoffgroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 康隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 渡邊 憲博 TEL 042-750-8588
 定時株主総会開催予定日 2024年8月29日 配当支払開始予定日 2024年8月30日
 有価証券報告書提出予定日 2024年10月22日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期の連結業績（2023年6月1日～2024年5月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期	111,657	9.6	3,051	18.4	3,448	13.4	1,705	△38.4
2023年5月期	101,843	11.3	2,578	45.9	3,040	31.7	2,769	91.1

(注) 包括利益 2024年5月期 2,009百万円 (△33.4%) 2023年5月期 3,019百万円 (98.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年5月期	86.26	—	8.7	6.6	2.7
2023年5月期	140.15	—	15.7	6.4	2.5

(参考) 持分法投資損益 2024年5月期 △16百万円 2023年5月期 53百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期	54,542	20,507	37.1	1,023.60
2023年5月期	50,213	19,057	37.6	954.20

(参考) 自己資本 2024年5月期 20,236百万円 2023年5月期 18,858百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年5月期	4,084	△2,411	△100	7,180
2023年5月期	243	△3,453	490	5,544

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年5月期	—	0.00	—	25.00	25.00	494	17.8	2.8
2024年5月期	—	0.00	—	25.00	25.00	494	29.0	2.5
2025年5月期 (予想)	—	0.00	—	25.00	25.00		23.5	

3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	7.5	3,500	14.7	3,800	10.2	2,100	23.2	106.22

(注) 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況 次期の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）J&K TRADING LLC、除外 1社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期	20,547,413株	2023年5月期	20,547,413株
② 期末自己株式数	2024年5月期	777,287株	2023年5月期	783,239株
③ 期中平均株式数	2024年5月期	19,767,858株	2023年5月期	19,762,044株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況 次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(連結貸借対照表関係)	14
(連結損益計算書関係)	14
(連結包括利益計算書関係)	15
(セグメント情報等)	16
(1株当たり情報)	21
(重要な後発事象)	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

文中における将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

当社グループは創業時より「事業活動を通じての社会への貢献」と「全従業員の物心両面の幸福の追求」の2つを経営理念としております。また、経営理念に基づく当社グループの事業活動を示すミッションとして「多くの人楽しく豊かな生活を提供する」を掲げております。

このミッションに基づき、拡大するリユース市場の中で私たちの強さを活かし、リユースのリーディングカンパニーとして循環型社会の形成に貢献するとともに、全従業員が自信と情熱を持ち、安心して働き、成長できる会社になることを目指します。

当社グループは2028年5月期を最終年度とする中期経営方針において、グループの強みである人財育成やサステナビリティへの取組などの普遍的な価値を土台とし、「深化領域」と位置付ける国内ブックオフ事業で、認知度の高さを活用して安定した収益を獲得するとともに、「探索領域」と位置付けるプレミアムサービス事業、海外事業や新たな事業に対して投資原資・ノウハウを投入し、経験豊富な人財の輩出によりグループの事業規模拡大と利益成長を進めていくことを決めました。

当連結会計年度においては、各事業において売上高が前連結会計年度を上回り、売上高111,657百万円（前連結会計年度比9.6%増）となりました。全社コストの増加はあるものの、各事業において増益となったことにより、経常利益3,448百万円（前連結会計年度比13.4%増）となった一方で、国内ブックオフ事業の減損損失93百万円、特別調査費用等引当金繰入額550百万円等の特別損失計上と前連結会計年度に実施した税効果区分の変更とグループ再編に伴う税負担軽減の剥落により、親会社株主に帰属する当期純利益1,705百万円（前連結会計年度比38.4%減）となりました。

以上のような業績となりましたが、当社グループは、当社子会社の期末棚卸において認識した棚卸差異の調査を契機として、従業員による架空の買い取り、在庫の不適切な計上及びこれらによる現金の不正取得が確認され、本事業の影響額としては、営業利益は68百万円減少、税金等調整前当期純利益は618百万円減少となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前連結会計年度比較については、前連結会計年度の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(国内ブックオフ事業)

当連結会計年度において、BOOKOFF SUPER BAZAAR 1店舗（甲府貢川店）、BOOKOFF PLUS 2店舗（ヨシヅヤ新稲沢店、日立駅前店）、BOOKOFF 5店舗（DCM上磯店、武蔵小金井店、イオン橋本店、イオンモール大牟田店、イトーヨーカドー溝ノ口店）、あそびバ2店舗（イオンモール草津店、イオンモール鈴鹿店）を出店しました。

直営既存店においてトレーディングカード・ホビーやアパレル、貴金属・時計・ブランドバッグ、家電・携帯電話などの売上高が前連結会計年度を上回ったことで、当連結会計年度売上高99,036百万円（前連結会計年度比8.2%増）となり、セグメント利益4,503百万円（前連結会計年度比19.3%増）となりました。

(プレミアムサービス事業)

当連結会計年度において、huga11 1店舗（いよてつ高島屋店）、BOOKOFF 総合買取窓口 3店舗（成城学園前店、高輪台駅前店、神楽坂店）を出店しました。

新規出店や事業成長に向けた人員拡充を進めたことで、仕入高が前連結会計年度を上回り、当連結会計年度売上高6,750百万円（前連結会計年度比23.9%増）となり、セグメント利益420百万円（前連結会計年度比29.1%増）となりました。

(海外事業)

当連結会計年度において、アメリカ合衆国にBOOKOFF 2店舗 (IRVINE店、MESA店) を、マレーシア国にJalan Jalan Japan 1店舗 (AEON MALL Bukit Raja店) を出店しました。

アメリカ合衆国内の「BOOKOFF」、マレーシア国内の「Jalan Jalan Japan」それぞれにおいて過年度の出店が寄与し、売上が前連結会計年度を上回ったことで、当連結会計年度4,668百万円 (前連結会計年度比15.4%増)、人員拡充や待遇改善等を行いつつも、セグメント利益724百万円 (前連結会計年度比14.7%増) となりました。

<出退店推移>

(単位：店)

			2023年5月期		2024年5月期	
			出店	退店	出店	退店
出退店合計	グループ	国内ブックオフ事業	(注1) 14	9	(注3) 13	10
		プレミアムサービス事業	4	1	(注4) 31	—
		海外事業	6	1	3	—
		戦略事業領域	1	—	—	—
		合計	25	11	47	10
FC加盟店		4	(注2) 8	2	(注5) 5	
期末店舗数	グループ	国内ブックオフ事業	384		387	
		プレミアムサービス事業	14		45	
		海外事業	21		24	
		戦略事業領域	4		4	
		合計	423		460	
FC加盟店		377		374		

(注1) フランチャイズ加盟企業から譲受けしたBOOKOFF 3店舗を含んでおります。

(注2) 当社グループに譲渡したBOOKOFF 3店舗を含んでおります。

(注3) フランチャイズ加盟企業から譲受けしたBOOKOFF 3店舗を含んでおります。

(注4) 前期末まで店舗数に含んでいなかった「huga11」(2023年6月1日時点15店舗)と「aidect」(同12店舗)は、当社グループにおける重要度が増したため、当期出店として加算しております。

(注5) 当社グループに譲渡したBOOKOFF 3店舗を含んでおります。

<自己資本比率、時価ベースの自己資本比率、債務償還年数、インタレスト・カバレッジ・レシオ、総資産経常利益率 (ROA)、経常利益>

	2023年5月期	2024年5月期
自己資本比率 (%)	37.6	37.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	48.6	56.0
債務償還年数 (年)	74.6	4.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1.4	23.3
総資産経常利益率 (ROA) (%)	6.4	6.6
経常利益 (百万円)	3,040	3,448

(注) 自己資本比率 (%) : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 (%) : 株式時価総額/総資産

株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

債務償還年数 (年) : 有利子負債/営業活動によるキャッシュ・フロー

有利子負債は、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、社債、長期借入金、長期未払金の合計としております。

インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) : 営業活動によるキャッシュ・フロー/利払い

総資産経常利益率 (ROA) (%) : 経常利益/期首・期末平均総資産

次期の見通し

当社グループが想定する2025年5月期は、国内ブックオフ事業を中心にBOOKOFF等店舗と取扱う商材、サービスをより一層深化させるとともに、プレミアムサービス事業と海外事業を中心に新たなお客様層や市場への更なる探索を実行することで、事業環境の変化に強いポートフォリオを構築し、持続可能な事業成長を実現し事業ミッションである「多くの人に楽しく豊かな生活を提供する」の実現に向け邁進してまいります。

このような状況を踏まえて、2025年5月期は、各事業における深化と探索を推進するため、引き続き新規出店やリニューアル等の成長投資を積極的に実施します。

国内ブックオフ事業においては、「BOOKOFF SUPER BAZAAR」、「BOOKOFF」等の出店を実施するほか、既存店リニューアルも引き続き積極的に実施するとともに、安定収益継続や業務効率化のための戦略的なIT投資を並行して実施いたします。

プレミアムサービス事業においては、国内主要都市を中心に積極的に新規出店を実施するとともに、他社との競争優位性を確立するべく人財の確保・育成に注力いたします。

海外事業においては、「Jalan Jalan Japan」をマレーシア国及びカザフスタン共和国へ、「BOOKOFF」をアメリカ合衆国へそれぞれ新規出店するとともに、「Jalan Jalan Japan」への商品供給量拡充のための成長投資に注力してまいります。

以上のことから、2025年5月期の連結業績予想につきましては、売上高120,000百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益3,500百万円(前年同期比14.7%増)、経常利益3,800百万円(前年同期比10.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2,100百万円(前年同期比23.2%増)を見込んでおります。

2025年5月期同期業績は、国内ブックオフ事業において前期リリースした大型IT投資による償却費や各事業における人件費等の各費用が増加するものの、各事業における新規出店及び国内ブックオフ事業既存店の伸長等により、営業増益、経常増益を見込んでおります。親会社株主に帰属する当期純利益は、経常増益に加えて前期の特別調査費用等引当金繰入額550百万円等の特別損失計上の剥落により2024年5月期より増加する見通しです。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産残高は32,208百万円(前連結会計年度末は29,112百万円)となり、3,095百万円増加しました。店舗設備やIT投資等を実施するための資金として現金及び預金が1,636百万円、トレーディングカード・ホビーなどの積極展開や新規出店等により商品が1,213百万円増加したことが主な要因です。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産残高は22,334百万円(前連結会計年度末は21,101百万円)となり、1,233百万円増加しました。各事業において、新規出店や店舗設備等へ投資を実施したこと等により有形固定資産が1,001百万円増加したことが主な要因です。

(負債)

当連結会計年度末における負債残高は34,034百万円(前連結会計年度末は31,155百万円)となり、2,879百万円増加しました。店舗設備やIT投資等の資金需要に対し銀行借入で対応したため借入金が1,032百万円増加したこと、未払法人税等が491百万円増加したこと、新規出店や店舗設備等へ投資を実施したこと等によりリース債務が432百万円増加したことが主な要因です。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産残高は20,507百万円(前連結会計年度末は19,057百万円)となり、1,450百万円増加しました。剰余金の配当を実施した一方、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことが主な要因です。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ1,636百万円増加し、7,180百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は4,084百万円（前連結会計年度は243百万円増加）となりました。これは、税金等調整前当期純利益2,779百万円、減価償却費1,860百万円等により資金が増加した一方、棚卸資産の増加額1,136百万円、法人税等の支払額735百万円等により資金が減少したことが主な要因です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は2,411百万円（前連結会計年度は3,453百万円減少）となりました。これは、新規出店、既存店リニューアルや譲受等に伴う有形固定資産の取得による支出1,732百万円、システムへの追加投資等に伴う無形固定資産の取得による支出433百万円等により資金が減少したことが主な要因です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は100百万円（前連結会計年度は490百万円増加）となりました。これは、借入金の純増額1,032百万円等により資金が増加した一方、リース債務の返済による支出566百万円、配当金の支払額494百万円等により資金が減少したことが主な要因です。

（4）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、利益配分を経営の最重要事項の1つと認識し、内部留保については、将来の企業価値向上につながる戦略的投資と財務体質の強化に対して有効に活用してまいりたいと考えております。

また、連結純利益に対する配当性向は20～30%程度を目安に、安定した配当を継続していくことを基本方針といたします。

当期の期末配当金は、2024年9月4日付「第6回定時株主総会議決権行使結果（臨時報告書）」で公表しましたとおり、1株当たり25円で決議されました。

なお、次期（2025年5月期）の配当金につきましては、当期の期末配当金を据え置いて1株当たり25円といたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,544	7,180
売掛金	3,008	3,397
商品	17,612	18,825
その他	2,948	2,803
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	29,112	32,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,243	16,573
減価償却累計額	△11,584	△11,803
建物及び構築物 (純額)	4,658	4,770
土地	648	648
リース資産	3,901	4,483
減価償却累計額	△1,197	△1,376
リース資産 (純額)	2,703	3,107
その他	3,373	3,876
減価償却累計額	△2,531	△2,547
その他 (純額)	842	1,328
有形固定資産合計	8,852	9,854
無形固定資産		
ソフトウェア	382	2,186
ソフトウェア仮勘定	1,998	212
その他	63	29
無形固定資産合計	2,443	2,428
投資その他の資産		
投資有価証券	※1 334	※1 305
繰延税金資産	2,090	2,351
差入保証金	7,296	7,311
その他	144	145
貸倒引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	9,804	10,052
固定資産合計	21,101	22,334
資産合計	50,213	54,542

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	814	783
短期借入金	6,383	6,333
1年内返済予定の長期借入金	3,347	4,483
リース債務	654	764
未払金	2,971	3,084
未払法人税等	340	832
賞与引当金	644	686
店舗等閉鎖損失引当金	11	24
特別調査費用等引当金	—	550
その他の引当金	189	209
その他	2,587	2,798
流動負債合計	17,945	20,551
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	7,341	7,287
リース債務	2,191	2,514
資産除去債務	2,450	2,484
その他	226	195
固定負債合計	13,210	13,483
負債合計	31,155	34,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	6,860	6,863
利益剰余金	12,322	13,534
自己株式	△591	△587
株主資本合計	18,691	19,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	78
為替換算調整勘定	109	248
その他の包括利益累計額合計	167	326
非支配株主持分	198	271
純資産合計	19,057	20,507
負債純資産合計	50,213	54,542

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2022年6月1日 至 2023年5月31日）	当連結会計年度 （自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）
売上高	101,843	111,657
売上原価	43,426	48,885
売上総利益	58,416	62,771
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	0	0
給料及び手当	5,876	6,301
パート・アルバイト給与	15,644	17,204
賞与引当金繰入額	645	687
退職給付費用	44	48
地代家賃	11,130	11,509
支払手数料	6,284	6,753
その他	16,212	17,214
販売費及び一般管理費合計	55,838	59,719
営業利益	2,578	3,051
営業外収益		
持分法による投資利益	53	—
自動販売機等設置料収入	124	121
古紙等リサイクル収入	248	251
その他	250	265
営業外収益合計	676	639
営業外費用		
支払利息	171	194
持分法による投資損失	—	16
その他	42	31
営業外費用合計	214	242
経常利益	3,040	3,448
特別利益		
固定資産売却益	3	1
移転補償金	—	93
投資有価証券売却益	—	17
特別利益合計	3	113
特別損失		
店舗等閉鎖損失	53	42
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	11	20
特別調査費用等引当金繰入額	—	550
固定資産除却損	99	73
減損損失	※ 104	※ 93
その他	2	1
特別損失合計	271	782
税金等調整前当期純利益	2,771	2,779
法人税、住民税及び事業税	778	1,213
法人税等調整額	△902	△269
法人税等合計	△124	943
当期純利益	2,896	1,835
非支配株主に帰属する当期純利益	126	130
親会社株主に帰属する当期純利益	2,769	1,705

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
当期純利益	2,896	1,835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	20
為替換算調整勘定	138	152
持分法適用会社に対する持分相当額	△53	0
その他の包括利益合計	※ 123	※ 173
包括利益	3,019	2,009
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,889	1,864
非支配株主に係る包括利益	130	145

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	6,858	9,948	△596	16,310
当期変動額					
剰余金の配当			△395		△395
親会社株主に帰属する当期純利益			2,769		2,769
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		1		4	6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1	2,374	4	2,380
当期末残高	100	6,860	12,322	△591	18,691

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	72	△24	48	123	16,482
当期変動額					
剰余金の配当					△395
親会社株主に帰属する当期純利益					2,769
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△15	134	119	75	195
当期変動額合計	△15	134	119	75	2,575
当期末残高	57	109	167	198	19,057

当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	6,860	12,322	△591	18,691
当期変動額					
剰余金の配当			△494		△494
親会社株主に帰属する当期純利益			1,705		1,705
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		2		4	7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	2	1,211	4	1,218
当期末残高	100	6,863	13,534	△587	19,909

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	57	109	167	198	19,057
当期変動額					
剰余金の配当					△494
親会社株主に帰属する当期純利益					1,705
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	21	138	159	72	231
当期変動額合計	21	138	159	72	1,450
当期末残高	78	248	326	271	20,507

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,771	2,779
減価償却費	1,650	1,860
減損損失	104	93
のれん償却額	47	40
賞与引当金の増減額 (△は減少)	46	42
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
店舗等閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	4	34
特別調査費用等引当金の増減額 (△は減少)	—	550
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△125	19
支払利息	171	194
持分法による投資損益 (△は益)	△53	16
店舗等閉鎖損失	53	42
投資有価証券売却損益 (△は益)	2	△17
固定資産売却損益 (△は益)	△3	0
固定資産除却損	99	73
移転補償金	—	△93
売上債権の増減額 (△は増加)	△672	△388
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,142	△1,136
仕入債務の増減額 (△は減少)	78	△32
その他	△574	582
小計	1,459	4,662
利息及び配当金の受取額	8	5
利息の支払額	△172	△175
移転補償金の受取額	—	93
法人税等の支払額	△1,100	△735
法人税等の還付額	48	233
営業活動によるキャッシュ・フロー	243	4,084
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,033	△1,732
無形固定資産の取得による支出	△1,259	△433
差入保証金の差入による支出	△304	△274
差入保証金の回収による収入	294	225
店舗譲受による支出	—	△52
その他	△150	△144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,453	△2,411
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,500	△50
長期借入れによる収入	3,200	4,700
長期借入金の返済による支出	△3,580	△3,617
リース債務の返済による支出	△220	△566
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	4	—
配当金の支払額	△357	△494
非支配株主への配当金の支払額	△55	△97
非支配株主からの払込による収入	—	24
財務活動によるキャッシュ・フロー	490	△100
現金及び現金同等物に係る換算差額	61	63
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,658	1,636
現金及び現金同等物の期首残高	8,203	5,544
現金及び現金同等物の期末残高	5,544	7,180

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 13社

主要な連結子会社の名称

ブックオフコーポレーション(株)

(株)ブックオフウィズ

(株)ブックレット

BOK MARKETING SDN. BHD.

当連結会計年度において、J&K TRADING LLC他1社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 主要な非連結子会社の名称等

該当事項はありません。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法を適用した関連会社の数 1社

持分法適用の関連会社名

(株)BOSパートナーズ

(2) 持分法を適用していない主要な非連結子会社及び関連会社の名称等

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

(株)ブックオフウィズ、(株)ブックレット、BOOKOFF U. S. A. INC. 及びその連結子会社であるBOOKOFF NEW YORK LLCの決算日は2月末日であります。なお、連結財務諸表の作成にあたっては、同決算日現在の財務諸表を使用しております。ただし、連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

ビーアシスト(株)、(株)ブックログの決算日は3月末日であります。なお、連結財務諸表の作成にあたっては、同決算日現在の財務諸表を使用しております。ただし、連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

BOK MARKETING SDN. BHD. の決算日は9月末日であります。連結財務諸表の作成にあたっては、3月末日に仮決算を実施しております。ただし、連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

J&K TRADING LLCの決算日は12月末日であります。連結財務諸表の作成にあたっては、3月末日に仮決算を実施しております。ただし、連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

なお、上記以外は、最近の有価証券報告書（2023年8月28日提出）における記載から重要な変更がないため開示を省略しております。

(連結貸借対照表関係)

※1 関連会社に対するものは次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
投資有価証券(株式)	85百万円	69百万円

2 当社グループは、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行11行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
当座貸越極度額の総額	11,900百万円	11,850百万円
借入実行残高	6,383	6,250
差引額	5,516	5,600

(連結損益計算書関係)

※ 減損損失

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

前連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

セグメント	用途	種類	場所	減損損失 (百万円)
国内ブックオフ事業	店舗	建物及び構築物等	BOOKOFF SUPER BAZAAR 八王子みなみ野店 (東京都八王子市) ほか12店舗	104

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗等を基本単位としてグルーピングしております。

当連結会計年度において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗及び設備で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び設備、使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗及び設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、回収可能価額は、店舗等については使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローに基づく使用価値がマイナスであるため、回収可能価額を零として評価しております。

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

セグメント	用途	種類	場所	減損損失 (百万円)
国内ブックオフ事業	店舗	建物及び構築物等	BOOKOFF 名古屋平針店 (名古屋市天白区) ほか11店舗	93

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗等を基本単位としてグルーピングしております。

当連結会計年度において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗及び設備で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び設備、使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗及び設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、回収可能価額は、店舗等については使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローに基づく使用価値がマイナスであるため、回収可能価額を零として評価しております。

(連結包括利益計算書関係)

※ その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
その他有価証券評価差額金：		
当期発生額	58百万円	49百万円
組替調整額	—	△17
税効果調整前	58	31
税効果額	△20	△10
その他有価証券評価差額金	38	20
為替換算調整勘定：		
当期発生額	138	152
組替調整額	—	—
税効果調整前	138	152
税効果額	—	—
為替換算調整勘定	138	152
持分法適用会社に対する持分相当額：		
当期発生額	△53	0
組替調整額	—	—
持分法適用会社に対する持分相当額	△53	0
その他の包括利益合計	123	173

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「事業活動を通じての社会への貢献」、「全従業員の物心両面の幸福の追求」を経営理念とし、中古書籍等の小売店舗「BOOKOFF」を中心に、「リユース」を切り口とした小売店舗の運営及びフランチャイズ事業を行っております。

当連結会計年度より、グループのマネジメント体制の変更に伴い、報告セグメントを従来の単一セグメントから、「国内ブックオフ事業」、「プレミアムサービス事業」及び「海外事業」の3区分に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

「国内ブックオフ事業」は、「BOOKOFF」を中心に様々なリユース商材を集めた大型複合店「BOOKOFF SUPER BAZAAR」と「BOOKOFF」にアパレル商材を複合させた「BOOKOFF PLUS」の運営を行っており、書籍・ソフトメディア等の他、家電商品、アパレル、トレーディングカード、ホビー商材、スポーツ用品、ベビー用品、腕時計・ブランドバッグ・貴金属、食器・雑貨等の買取及び販売を行っております。

また、インターネット上で書籍・ソフトメディア等のリユースショップ「BOOKOFF公式オンラインストア」の運営等を行っております。

「プレミアムサービス事業」は、大手百貨店に設置した買取窓口「hugall」、ジュエリーの修理・リフォーム・サステナブルジュエリー販売等の専門店「aidect」、ブランド品販売及び買取等を行う総合買取窓口の店舗運営等を行っております。

「海外事業」は、アメリカ合衆国において、「BOOKOFF」を展開するほか、マレーシア国において、「Jalan Jalan Japan」を展開し、カザフスタン共和国において、アパレル等のリユース製品の輸出入及び販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務諸 表計上額 (注) 4
	国内ブック オフ事業	プレミアム サービス 事業	海外事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	91,549	5,449	4,045	101,044	798	101,843	—	101,843
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	91,549	5,449	4,045	101,044	798	101,843	—	101,843
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	—	—	15	531	546	△546	—
計	91,565	5,449	4,045	101,059	1,329	102,389	△546	101,843
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	3,774	325	631	4,731	△123	4,607	△1,567	3,040
セグメント資産	41,468	2,008	3,176	46,652	517	47,170	3,042	50,213
その他の項目								
減価償却費	1,353	38	235	1,627	12	1,640	10	1,650
のれんの償却額	47	—	—	47	—	47	—	47
受取利息	11	0	4	16	3	19	△6	13
支払利息	44	0	20	65	0	65	106	171
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	3,435	115	130	3,682	19	3,701	23	3,724

- (注) 1. 「その他」の区分は、当社グループ直営のトレーディングカード専門店「Japan TCG Center」の運営、家庭内にある物品をお客様に代わり片づける個人向けサービス「ブックオフおかたづけサービス」の提供等であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△1,567百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
3. セグメント資産の調整額3,042百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産であります。
4. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、連結財務諸表の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務諸 表計上額 (注) 4
	国内ブック オフ事業	プレミアム サービス 事業	海外事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	99,036	6,750	4,668	110,455	1,201	111,657	—	111,657
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	99,036	6,750	4,668	110,455	1,201	111,657	—	111,657
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	0	—	31	656	687	△687	—
計	99,067	6,750	4,668	110,486	1,857	112,344	△687	111,657
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	4,503	420	724	5,647	△175	5,472	△2,023	3,448
セグメント資産	42,830	2,450	4,387	49,668	946	50,615	3,927	54,542
その他の項目								
減価償却費	1,551	51	235	1,837	12	1,849	11	1,860
のれんの償却額	40	—	—	40	—	40	—	40
受取利息	10	0	0	10	3	13	△5	8
支払利息	43	0	33	77	0	77	117	194
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,785	69	197	2,052	26	2,079	9	2,088

- (注) 1. 「その他」の区分は、当社グループ直営のトレーディングカード専門店「Japan TCG Center」の運営、家庭内にある物品をお客様に代わり片づける個人向けサービス「ブックオフおかたづけサービス」の提供等であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△2,023百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
3. セグメント資産の調整額3,927百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産であります。
4. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、連結財務諸表の経常利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年6月1日 至 2023年5月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	米国	マレーシア	合計
7,194	1,071	586	8,852

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	米国	マレーシア	合計
7,422	1,626	805	9,854

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

(単位：百万円)

	国内ブック オフ事業	プレミアム サービス事業	海外事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	104	－	－	－	－	104

当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位：百万円)

	国内ブック オフ事業	プレミアム サービス事業	海外事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	93	－	－	－	－	93

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2022年6月1日 至 2023年5月31日）	当連結会計年度 （自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）
1株当たり純資産額	954円20銭	1,023円60銭
1株当たり当期純利益金額	140円15銭	86円26銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	—

（注） 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2022年6月1日 至 2023年5月31日）	当連結会計年度 （自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 金額（百万円）	2,769	1,705
普通株主に帰属しない金額 （百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属 する当期純利益金額（百万円）	2,769	1,705
普通株式の期中平均株式数 （千株）	19,762	19,767

（重要な後発事象）

該当事項はありません。